

国際政治

107

冷戦変容期の国際政治

日本国際政治学会編

序章 冷戦変容期の国際政治	石井 修
ヴェトナム戦争をめぐる国際関係	菅 英輝
中国と社会主義陣営	高橋 伸夫
「プラハの春」と軍事介入決定過程	岩 志津子
ブランド政権の東方政策の再検討	ハラルド・クラインシュミット 岩 志津子訳
米国外交におけるリンケージの興亡	関場 誓子
ヴェトナム戦争の終結とASEAN	高埜 健
カーター政権の在韓米地上軍撤退政策	村田 晃嗣
アメリカの秘密工作とアンゴラの民主化	大津留（北川） 智恵子
冷戦期のCSCEと東西対立	吉川 元
対応の政治	櫻田 大造
覇権安定の評判ゲーム理論	石黒 馨
<hr/>	
<書評>	
緒方貞子著	
『戦後日中・米中関係』	田中 明彦
佐々木卓也著	
『封じ込めの形成と変容——ケナン、アソチン、ニッツェと トルーマン政権の冷戦戦略』	寺地 功次

1994年9月刊